

古代中国服の現代少数民族服飾への影響

張 静* 中里喜子**

The Influence of Antique Chinese Costume upon the Present Costume of the Minority Race

Sei CHOU and Yoshiko NAKAZATO

I はじめに

服飾は、人類生活の要素であり、または人類文明の印である。服飾の発生と変化は、その国、地方の経済、政治、文化及び宗教、生活習慣との密接な関係によってつながっている。

隋・唐時代は、国家統一により、経済が繁栄し、服飾も派手に変化して、開放的になってきた。特に婦人服に「袒胸露臂」の服が現れ初め、宋・明時代以後、論理学が氾濫して、封建的な論理を強調する時代になるにつれて、服飾も徐々に保守的なものに戻った。また、清の時代の末期に西洋文化が少しずつつ入ってきて、その影響により、服飾は、平面構成によるゆとりが少なくなり、体にフィットし、動きやすいものに変化してきた。したがって、各時期の思想、文化の変革は、衣冠服飾上に直接或いは、間接に影響を及ぼしていると考えられる¹⁾。

II 少数民族と漢民族の交流

中国の服飾文化は、各民族が長い年月をかけて共同して創造した文化の結晶である。数千年以来、各民族間の文化が交流していく中で、数々の精美絶倫の服装が誕生し、長い歴史に輝く中華民族の文化を育ててきた。

二千年前、中原地区の漢民族の騎士の軍服は、西北地区の少数民族（胡人）の服飾から、取り入れた。漢民族の寛衣帯式の服装と違って、上半身は、短衣、体にぴったりし、下半身は、長いズボンと革靴、動きやすい形態となった。（図1参照）その後、この服装は民間に流行し、一般人の服装になった。一方、各少数民族も漢民族の服飾からよいところを大量に吸収し交流があった。漢武帝時代には、張賽と

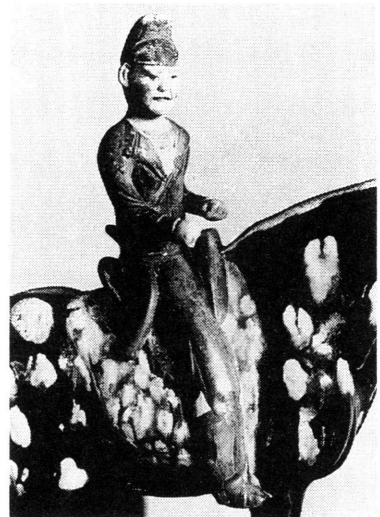


図1 胡服の騎士（中国歴代服飾
唐三彩俑より）

* 生活科学研究所 研修生

**服飾美術科 被服衛生学研究室／生活資料館

いう人を二回西域（新疆）に派遣させたので、中原と西域地区の交通の便が計られるようになって、いわゆるシルクロードとして中国の文化が西域地区に流れた。新疆民豊の古墳から、漢民族の錦袍を発見したことによっても証明される。この錦袍の形は典型的な少数民族のデザインであるが、生地と模様は漢民族の特色が表れている。漢民族の文字も刺繍されている。これは中原と西域の民族の交流した事実を証明した資料であろう。隋・唐時代は、社会の経済が急速に発展したため、中原地方の封建社会の文化が非常に盛んになった。国内・外の各民族の人々が長安に集まり、衣服の変化は従来以上に栄えた。遼・金・元・清時代の政府は、全て少数民族である。この時期の服飾は、各民族の服装に基づいて制作したものである。中国伝統的な服飾がこのように多種多様な風格があるのは、各民族の人々の知恵の結晶といえるであろう¹⁾。

III 古代服と少数民族服の流れ

さて、古代服と少数民族服はそれぞれいったいどのような特徴をもっているのか。また両方のつながりも追究したいと思うが、これらの服飾品は非常に膨大であるため、代表的なものを述べることにする。

1 隋・唐時代

隋・唐時代の婦人の衣装は、小袖短襦（細い袖、短い上衣）、狭長裙（細く長いスカート）で、スカートのウエストの位置は非常に高く、脇の下から水平にとった高さであり、ウエストをシルクの帯で締めた。（図2参照）数百年の間に、服装が変化しても、この様式は基本として変わらなかった。その後、胡服（西北地方少数民族の服）が流行してきた時代になっても、この様式はまだ残っていた。天宝年間（AD 620）、婦人の中に、男装が流行し、貴族も一般庶民もみな男装を好んだ。これは、当時の開放的な社会が反映している。



図2 隋・唐時代の女服（中国歴代服飾壁画復元より）

胡服は、唐時代に数百年の歴史を経て流行した。唐時代の胡服は、西域地区の少数民族の服飾だけではなく、インド、イランなど外国の服装の影響もあり、当時の舞踊の流行に深い関係があると考えられる¹⁾。

唐時代は、特に初期の長安で、音楽と舞踊が絶頂に達し、その中に、西域の舞踊（胡舞）とイラン民族の舞踊がたくさん吸収された。人々が豊作及び婚礼などを祝う場合に、舞踊は心の喜びを表現する手段であった。胡舞は全国で流行するにつれて、日常生活の中の主要な娯楽になった。婦人たちはみな胡女をまねし、舞服、胡服は美しいものとして好まれていた。（図3参照）敦煌の壁画及び唐時代の古墳により、舞服の特徴は、狭袖（細い袖）、緋襖錦袖（赤い錦の上

衣)、緑・駿混柏柏、(緑の錦の縫いと
りしたズボン)、赤皮靴、白袴などが
みられた。

唐時代の婦人服には、「半臂」とい
う服もある。古墳から出土した壁画、
陶俑に見られた「半臂」は、半袖で丈
は短く(ウエスト位置)、一般に襦の
外に着た。(図4参照)しかし、厳しい家
庭では、この服を着なかった。

2 遼・金・元時代

先に述べたように、遼・金・元時代
は少数民族が主として権力を持つ時代
であった。遼は契丹族、金は女真族、
元はモンゴル族である。彼らは中国の
北部に居住していた。互いに民族の間

の争いがあったが、経済と文化の交流
(中国歴代服飾唐俑より)
も密接につながっていた。

遼時代の人々は、常に長袍を着ていた。この時期の服装の特徴は、左開き、丸い衿、狭袖で、袍の帯は胸に高く結び、帯は長く膝まで垂らす。長袍はやや暗い色調で、緑、青、黄色にグレーを帯びていて、模様は素朴であった。(図5参照)遼寧省に出土した古墳の木綿の袍は、貴族のものようであるが、ゴールドの地に花模様の刺繍が施されていた。衿に二匹の竜と肩、腹、腰の部分に鳳凰、桃の花、水鳥、蝶など模様の刺繍施していた。竜と鳳凰は漢民族の伝統的な模様であるが、契丹貴族の服装に現れたのは、漢民族との交流と考えられる。

金時代は火葬制度の時代であった。まず死体を火で燃やし、それから骨の灰と宝石など一緒に棺桶に入れてもう一回燃やす。このことが原因となつて、服飾の遺物が極めて少ないため、文献にわずかに記載されていたものを参考にするより他はない。

北方地区は寒いため、金時代の服装は、殆ど皮で造られているが、貴族は、ミンク、狐、仔羊などの毛皮を用い、一般庶民は牛、馬、猪、羊、猫、犬、魚、蛇などの皮を使用した。季節で見ると、真冬には、帽子、上衣、ズボン、靴下など身につけるもの全て獣皮である。春、夏は木綿、シルクの布地の服



図3 唐時代の舞女
(中国歴代服飾唐俑より)



図4 唐時代の半袖の女服
(中国歴代服飾唐三彩俑より)



図5 遼時代の丸い衿の長袍
(中国歴代服飾壁画復元より)

を着用した。

女真族は、水や草のあるところを転々として移り歩く遊牧生活を営んでいるが、服装の色は大自然に近いものであった。狩猟するときに動物に近づきやすく、身体を保護するためである。冬は雪や氷の色で白の服を着ていたが、春、秋の服に動物、花、林など刺繍の模様をつけて、保護色としていた。

女性の服装は遼時代に類似していて、上半身は左開き、黒、紺、ワイン色の袍を着た。下半身は黒に近い赤色の長くタックを沢山をとったスカートであった。スカートには、花の模様を刺繍していて、腰に赤と黄色の帯で結び、足首まで垂らしていた。(図6参照)



図6 金時代の貴族の女服
(中国歴代服飾唐俑復元より)

元時代の遊牧民族は、経済、文化的な発展が漢民族より遅れていたため、服装もごく素朴であったが、中原を侵略した後、漢民族の生活習慣に影響されて、服装は段々派手になった。

元時代の服装は長袍を主としている。婦人の袍服は、左開き、袖口が小さい。服の中に、ズボンを穿いており、このズボンの形が非常に原始的であった。股上がなく、股下から足首までのものであり、両足が別々に離れていた。上端には紐がついて、腰に締めて固定させた。服装の色は、茶色を多く用いた。また羊毛の織物に、金糸を混ぜて織られたものを好んで使用した¹⁾。

3 清時代

中国の服装の発展史では、清時代の服装はもっとも複雑で、規定が多くて厳しい服装制度の下にあった。政府が定めた服装の体制は、漢民族の服装の特徴を吸収しており、例えば、中国の伝統的な十二章紋が朝服の紋様に定められ、獣の紋様の刺繍をしている服は、文、武官吏の職別の標識、鳳凰など紋様は妃の冠帽の装飾など…。他の民族服を吸収するだけでなく、自分の民族(満州)の習慣と礼儀もそのまま保っていた。

一般婦人は婚礼と出葬のとき、貴婦人の豪華な服飾「貸し衣裳」を着るが、普段の礼服は各自持っていた披風、襖裙であった。(図7参照) お祝い場合は、淡い青色で、葬礼の場合は濃い青色で厳しく分けていた。形は、右開

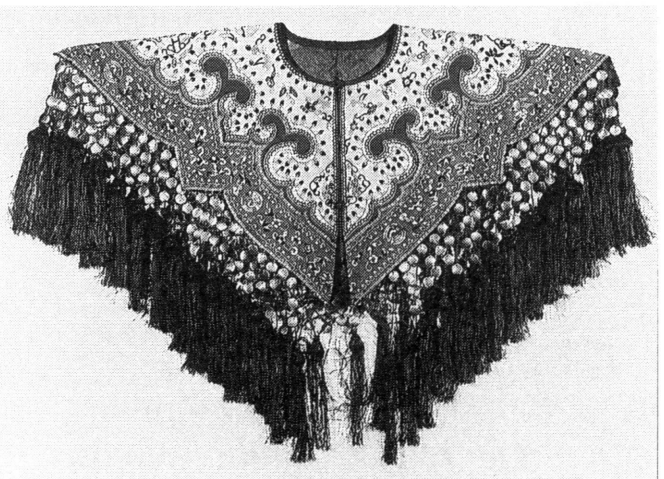


図7 清時代の披風(中国歴代服飾写真より)

き、袖が大きい襖に、五彩金糸の花紋の刺繍が施され、時には、真珠や宝石を飾ってあった。披風の中に大襖（上衣）を着、また大襖の中に体にぴったりした小襖を着ていた。この小襖の色としては、赤、桃色が多く用いられていた。（図8参照）女性の服飾で特徴的なものは、衿元、袖口、裾に色鮮やかな図案刺繍が施されていたことである。特に清の末期には益々派手になった。下半身は長いスカートを書くが、装飾は様々である。例えば、スカートに五彩の色とりどりの紐をつけたり、或いはスカートの裾の部分に沢山のベルをつけて、歩くときに、綺麗な音を流すようにした。また、魚鱗、波の形を刺繍したスカートなどがあった¹⁾。（図9参照）



図8 清時代の短い大襖（中国歴代服飾写真より）

4 満州族

満州族の半数以上の人々は遼寧省に居住し、その他は、全国各地に散らばっていた。満州族は、16世紀に中国の歴史の舞台に登場し、17世紀に清朝を樹立して、20世紀初期まで中国を支配した。狩猟生活のため、衣裳は、牧畜地帯の自然環境と遊牧民生活に適



図9 清時代の長袍に袖なし上衣を着る貴婦人（中国歴代服飾写真より）



図10 満州族の伝統の盛装ゆつたりとした旗袍と袖なしの上着（中国諸民族服飾図鑑より）

したものとなっていた。男性の服装は、騎馬と射撃がしやすいように両脇の開いた長袍を着た。その長袍の上に丈が短い、前開きの上着、馬褂というものを身につけた。女性の服装は、ゆつたりとしたまっすぐな長袍、「旗袍」と言われているものを着た。袍の長さは足元まで届き、袖はまっすぐで大きい、袖口は平たく広めであった。旗袍は上から下まで、一枚の生地で作断縫製され、襷やタックは一切とらない。きっちりとした高い襟元は、優雅で上品な味わいを見せていた。生地は、錦、鍛子織り、または、藍

色の布を用い、旗袍の裾、袖口、襟元に、花、草などの模様の刺繍で縁を飾った。すっきりと流れるようなラインの旗袍は、現代の中国女性服装に大変大きな影響を及ぼしていた。(図10参照) 満州族の服飾品の多くは淘汰されたが、旗袍はあい変わらず中国の多くの女性たちから愛された。現代の旗袍(チャイナドレス)は幾度かの変化を経て、腰まわりを体にぴったりと合わせるようになり、丈も短めになった²⁾。

5 モンゴル族(蒙古族)

モンゴル族は、中国北部地方の広い内蒙古草原に居住している。男女とも蒙古袍(外側に着る長い着物)を着た。蒙古袍は、元時代の服装を基礎として、他民族の服装の長所を取り入れて改善されたものであった。長衣が基本的な様式になって、開きの部分は右になり、衿は上前につながり、袖が長く、衿まわり、袖まわり、前身頃の縁と裾まわりは色とりどりの布ぎれで飾られていた。これに赤や緑のシルクの腰帯を締めると、一段と映える。衣服の色としては、



図11 モンゴル族の袖の細いゆったりとした長袍
(中国諸民族服飾図鑑より)

赤、黄色、濃紺、鉄色などが多かった。普通緋色のものは着ないそれは、喇嘛僧しか着用できなかったからである。長袍には一般にスリットが入っていないが、乗馬や放牧作業に便利のように、裾まわりはたつぷりとしてあり、素材は、獣皮、シルクや木綿などであった。(図11参照) モンゴル族の服飾は、かつて中国各民族の服飾に極めて大きな影響を与えたことがあったと考えられる³⁾。

6 コーラオ族(仡佬族)

コーラオ族は貴州省の西部にある二十幾かの県に散らばって居住し、その他広西、雲南省にも少数分布している。中国の戦国から西漢までの時代(BC 475~AD 24)、西南地方に残った古い民族であった。コーラオ族は、長期にわたって漢民族及びその他の兄弟民族と交って雑居をしてきたため、服飾と習俗の面で他の民族の影響を多く受けていた。

古代の僚人の伝統的長いスカート、いわゆる「桶裙」は女性たちの好みである。上着は長い袖と背に魚鱗模様を刺繍した短い上衣を着用していた。外套は袖なしの、前身頃が短く



図12 コーラオ族の長いスカートと短い上衣にチョッキを着る女性
(中国諸民族服飾図鑑より)

後身頃が長い刺繍入りの長衣で、着る時は頭からかぶった。

(図12参照)

ろうけつ染めは、コーラオ族の最も優れた伝統工芸である。図案は抽象的なものが多く、シンメトリーがデザインの基本となっている。上衣の裾、袖口、スカートの子裾、ズボンの裾などに、図案の美しいろうけつ染めの縁飾りによく見かける。その模様は、精緻な手工、構図も様々で、素朴な美しさは刺繍と調和して、独特な民族色を表わしていたと考えられる³⁾。

(図13参照)



IV おわりに

中国は悠久なる歴史と文明を持つ国であり、または衣冠王国とも言われている。資料に見られた多彩多様な衣裳により、古代の先祖の脈拍を強烈に感じた。古代人及び各少数民族の人々が、長い歴史を経て、共同して創造した素晴らしい服飾は、現代人に残された宝庫である。今日、中国服は世界の人々に愛され、チャイニーズ風ファッション、民族風ファッションの流行が世界中に広がり、アレンジされた中国服、民族服は星のように輝いている。

図13 古い時代の伝統を多分に残しているコーラオ族の女性の服装
(中国諸民族服飾図鑑より)

私たちは、古代中国服の流れを汲んだ現代少数民族の衣裳を研究しながら、東方古代文化の極めて味わいのある貴重な表現を更に発見していきたいと考えている。

参考文献

- 1) 周洵 高春明 「中国歴代服飾」 学林出版社 (1994)
- 2) 楊権 尹素郷 吳明暉 除震時 「中国少数民族服飾」 株式会社美乃美 (1981)
- 3) 王輔世 「中国緒民族服飾図鑑」 柏書房株式会社 (1991)